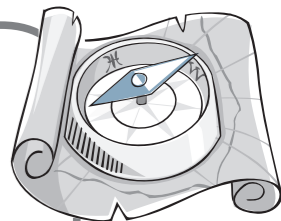


くしまを

串間の魅力 再発見

76

◎串間の秋を探検



林道を上りきると開通記念碑がある。

あそぼっ。

夏のような暑さも和らぎ、涼しさを感じるが多くなりました。そろそろ串間の山にも秋の気配が訪れる季節です。そこで今回は、「ふるさと林道小布瀬〜風野線」のモミジを紹介いたします。

ふるさと林道のモミジ

「ふるさと林道小布瀬〜風野線」は、大東地区・風野にある串間市と日南市を結ぶ林道です。林道沿い約2kmにわたってモミジが植えられ、色鮮やかな景色を楽しむことができます。

車から景色を眺めることができ、ドライブがてらモミジを楽しんでいる人も見かけますが、せっかくの機会ですので、ここでは林道をゆっくり散歩したいと思います。林道はゆるやかな坂道が続いているので、適度な運動をしながら景色を楽しむことができ、小さな子どもやお年寄りの方でも無理なく歩けます。林道を上りきると、開通記念碑の前に小さな広場があります。ここで一休み。お昼ごはんを食べるのも良いでしょう。下りの道では、上りでは見

串間のモミジを楽しもう



「ふるさと林道小布瀬〜風野線」。これから紅葉を迎える。

ことができなかつた景色を探してみよう。またこの林道にはモミジのほかに、アジサイや彼岸花など

も植えられていて、季節ごとに美しい花を咲かせてくれます。このモミジやアジサイなどは、「広野歩こう会」の皆さんによって管理されています。植栽するだけでなく、日ごろから手入れを行い、美しい林道が維持されています。毎年6月に開催しているアジサイウォーキングは、市内外か

ら参加者が訪れる串間を代表するイベントとしても有名です。**葉が赤くなる理由は？**

皆さんは、どうして葉が赤くなるか存じですか？

葉が赤くなるころ、その中には大きな変化が起きています。枝と葉の間に、離層という水分を通しにくい層ができるのです。このため、葉に栄養が流れにくくなり、光合成を行う葉緑素が少なくなり、葉緑素は葉の緑色の色素であるため、緑色が薄くなっていくのです。このとき、葉の中にカロテンという黄色の色素がもともと多い葉は黄色に変化します。

さらに、葉の中に残っているブドウ糖などの糖分と、光合成の影響により葉の中では新しい色素が作られます。これがアントシアニンという赤い色素で、モミジの赤い色の正体です。このアントシアニンは、寒くなると多く作られる一方、葉緑素は寒さが強まるとどんどん少なくなっていく。このため、日中の空気が乾燥して冷えこんだ、よく晴れた日の夕方は鮮やかなモミジを目にすることができるよう。

この秋は、「ふるさと林道小布瀬〜風野線」で鮮やかに色付いたモミジを楽しんでみてはいかがでしょうか。

平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布、平成21年4月から施行されました。この法律は地方公共団体財政の健全性に関する比率の公表の制度を設け、この比率に応じて地方公共団体の財政の早期健全化および財政の再生並びに公営企業の経営の健全化を図るための計画を策定する制度を定めることなどにより、地方公共団体の財政の健全化に資することを目的としています。公表することとなるのは、次の5つの比率です。

- (1) 実質赤字比率＝一般会計(普通会計を構成する会計)などの実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示します。
- (2) 連結実質赤字比率＝全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示します。
- (3) 実質公債費比率＝一般会計などの実質的な借入金返済額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示します。
- (4) 将来負担比率＝一般会計などが抱える実質的な負債の残高が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示します。

以上の(1)から(4)までの比率を

「健全化判断比率」と言います。(5) 資金不足比率＝各公営企業の資金不足額が、事業の規模に対してどのくらいの割合になるのかを示します。健全化判断比率のうち、1つでも早期健全化基準以上となった場合は財政健全化計画を、また、資金不足比率が経営健全化基準以上となった場合は経営健全化計画を策定する必要があります。また、地方公共団体の財政が早期健全化の状態よりもさらに悪化し、健全化判断比率のうち、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率のいずれかが、財政再生基準以上となった場合は、財政再生計画を策定する必要があります。

平成21年度に基づき算定された串間市の健全化判断比率および資金不足比率は、下表のとおりです。いずれの比率も基準内となっておりますが、今後さらなる健全化に努めます。

■健全化判断比率

比率の名称	串間市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	14.11%	20.00%
連結実質赤字比率	-	19.11%	40.00%
実質公債費比率	13.5%	25.0%	35.0%
将来負担比率	71.0%	350.0%	

※「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」の「-」は、実質赤字額および連結実質赤字額がないことを示しています。

■資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
串間市水道事業会計	-	20.0%
串間市民病院事業会計	-	20.0%
串間市簡易水道特別会計	-	20.0%
串間市農業集落排水事業特別会計	-	20.0%
串間市公共下水道事業特別会計	-	20.0%
串間市漁業集落排水事業特別会計	-	20.0%

※各会計の資金不足比率の「-」は、資金不足額がないことを示しています。

串間市の健全化判断比率等を公表します。

平成21年度の決算に基づき、串間市の健全化判断比率等を算定しましたのでお知らせします。